



# でらボラNAGOYA通信

2020年 9月号

## …令和2年7月豪雨 物資の協力…

川の氾濫により浸水の被害が大きかった、熊本県人吉市でボランティア活動をしている方から、至急タオルが必要な状況であり送ってくれないかとの一報が届きました。でらボラに繋がりのある方々にお願いし、新品のタオルは水を吸わないため、1回以上洗ってあるタオル類を段ボール8箱に詰めて送付いたしました。物資は時間経過と共に必要なものが変わっていくものです。迅速な対応がとれる体制を整えておくことの大切さを改めて学ばさせていただきました。でらボラでは新型コロナウイルスの影響で現地での支援活動ができない中、今私たちができることを模索しています。



# 報告

皆様に募金頂きました支援金を下記の方々にお送りいたしました。

支援金送り先(これまでのでらボラ基金から拠出)

・TEAM 熊本・・・10万円

「熊本地震発生直後から「熊本地震・熊本支援チーム」として活動。救援物資配送、避難所運営補助、支援ボランティアのマッチング等の実働をしています」

・うきのわ・・・10万円

「被災地域人吉市の真宗大谷派林照寺様(ひとよしのわ)を本部として活動しています。」



(うきのわ より)

7月17日 熊本県球磨郡相良村総合体育館

参加スタッフ14名【献立】炭火焼き鳥井、野菜スープ、水出し珈琲等

現地にて調理 スタッフが揃ったので炭火を熾しての調理が可能になりました。新型コロナウイルス感染症の感染予防のため自治体職員さんが食事を届けるという方式でした。一刻も早い新型コロナウイルス感染症の収束を願わずにはいられません。こちらの地域では、死者が出ないので報道されることがなく、またボランティアも入ってこない…被災された方々は避難所、自宅避難にかかわらず被災した自宅等の後片付けの毎日が続いています。職員の方が「犠牲者が出なかったことで復興の波に取り残されそうな気がします。死者が出なかったことは喜ぶべきことなのに、」と不安を吐露されていました。支援する側が孤立を生み出す一因を担ってしまっている、という一面もあるのかなと感じました。より細やかな視点で見守る支援の必要性を感じたこの日の活動となりました。



下記のとおり皆様から支援金の募金をいただきました。有難うございます。支援金は、随時現地で活動されている方々に全額お送りいたします。

- ・8月の募金活動・・・40,534円
- ・本堂設置募金箱 7/15～8/12・・・60,796円
- ・7/28 参拝者のお一人から・・・100,000円
- ・願入寺様(藤井委員長)・・・155,830円

でらボラ NAGOYA 会員 募集中!

【入会資格】不要です

【会費】不要です

(募金活動にご協力お願いします)

【申込方法】来月12日の「一如さん」の

募金スタッフにお声かけください

【問い合わせ】mail:derabora758@gmail.com

私たちは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に、被災地の復興と、人と人とのつながりの回復を願う有志によって結成されたネットワークです。

活動支援のカンパなど、引き続き本会の活動へのご支援、宜しくお願い申し上げます。

募金は「一如さん(毎月12日)」の募金箱、もしくは下記の口座までお振込みください。

【口座名義】真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク

【ゆうちょ銀行振替口座 口座記号番号】00800-8-174946 【支店名】名古屋橋

8月の活動支援金は40,534円です。たくさんのご協力をありがとうございました。

